

# 平成30年度第1回 半田市介護保険運営協議会 議事録

開催日時	平成30年7月6日(金)	14時00分～15時40分
開催場所	半田市役所大会議室	
会議次第	<p><b>【はじめに】</b></p> <p>(1) 委嘱状伝達</p> <p>(2) 市長挨拶</p> <p>(3) 委員・事務局員紹介</p> <p>(4) 運営協議会組織等説明</p> <p>(5) 会長選出</p> <p><b>【議題】</b></p> <p>(1) 平成30年度半田市介護保険運営協議会の運営について</p> <p>① 専門部会</p> <p>② 今後の開催日程等</p> <p>(2) 半田市高齢者保健福祉計画・第6期介護保険事業計画の総括評価について</p> <p>(3) 半田市高齢者保健福祉計画・第7期介護保険事業計画について</p> <p>(4) 地域密着型サービス事業所公募について</p> <p><b>【その他】</b></p>	
出席委員 (欠席委員)	<p>(会長) 竹内 一浩</p> <p>(委員) 岡井 誠、榊原 瑞輝、間瀬 武則、後藤 章次、加藤 金吉、(古市 哲夫)、原 早知子、山本 美津穂、廣江 好矩、森川 武彦、山崎 秀和、部田 かね代、小田 京子、(来島 修志)、松井 一夫、森 美枝、関 正己、鈴木 奈美、加藤 昌子</p> <p style="text-align: right;">※敬称略</p>	
事務局	<p>(地域福祉課) 課長 榊原</p> <p>(保健センター) 事務長 山口、保健師 藪内</p> <p>(高齢介護課) 課長 倉本、副主幹 手島、副主幹 村田、主査 吉川、主査 木村、福祉主事 大崎、事務員 中里</p> <p>(包括支援センター) センター長 澤田、大橋</p>	

次 第	議事概要
<p>【はじめに】</p> <p>(1) 委嘱状 伝達</p> <p>(2) 市長あ いさつ</p> <p>(3) 委員・ 事務局員紹介</p> <p>(4) 運営協 議会組織等説 明</p> <p>(5) 会長選 出</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市長より出席委員に委嘱状の伝達</li> <li>・ 市長よりあいさつ</li> <li>・ 委員・事務局員それぞれより自己紹介 (事務局)</li> <li>・ 半田市介護保険運営協議会組織等の説明</li> <li>・ 委員互選により会長（議長）を選出</li> <li>・ 議長あいさつ及び職務代理者を指定</li> </ul>
<p>【議題】</p> <p>(1) 平成 30 年度半田市介 護保険運営協 議会の運営に ついて</p> <p>(2) 半田市 高齢者保健福 祉計画・第 6 期介護保険事 業計画の総括 評価について</p>	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2つの専門部会及び今後の開催日程等について説明。</li> </ul> <p>(会長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ただいまの事務局の説明について、ご意見やご質問はありますか。</li> </ul> <p style="text-align: center;">(特になし)</p> <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第 6 期事業計画に基づいて実施した施策・事業の総括評価について説明。</li> </ul> <p>(会長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ただいまの事務局の説明について、ご意見やご質問はありますか。</li> </ul> <p>(委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 資料 6 の 5 頁に記載の認知症キッズサポーター養成講座についての反応を知りたい。</li> </ul> <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 子どもたちは大変素直に、認知症について理解を示しています。また、自分の身近なところでどんな手助けができるのか、というのも同時に考え、気づきになっているといった感想文をいただいて、大変良い感触で進めることができています。昨年度で 3 校ご協力いただき、今年度 6 校ご協力いただける予定です。小学校 4、5、6 年生の福祉教育の中で実施ができています。</li> </ul> <p>(会長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 昔は、現代のような核家族化ではなく、自分の祖父や祖母と接する機会</li> </ul>

も多かったのですが、今は学校の場合、色々やっていただくということですね。他にありますか。

(委員)

- ・同じく5頁の認知症カフェについて、利用状況を知りたい。

(事務局)

- ・利用状況は、資料7の17頁に記載のとおりです。利用者数は、1回あたり10名から20名程度です。

(委員)

- ・認知症カフェの設置場所についての考えを知りたい。

(事務局)

- ・1中学校区には1つは設置したいと考えております。

(委員)

- ・設置場所や開設日時等、もっと様々な視点から考慮した方が良く、このカフェ自体のPRを更にする必要があると思う。

(事務局)

- ・ご指摘のとおり、引き続き検討してまいります。それと、プラチナカフェという市が認めた括りだけではなく、認知症の人を受け入れるカフェも含めて今後検討してまいりたいと思います。

(委員)

- ・資料6の2頁ICTシステムの構築というところで、今後はショートステイ先等の施設にぜひ導入をお願いしたいが、今後それはどうなるかということと、在宅医療を受けている患者さんの中で、このだし丸くんネットを使っている割合等、様々な利用割合を知りたい。こういった数値は、利用者や市にとっても有益なデータになると思う。これらの割合は、例えば医師による居宅療養患者指導の数から計算すれば出てくると思うので、説明をお願いします。

(事務局)

- ・現在だし丸くんネットを利用し支援する側の職種が、医師と歯科医師、薬剤師、訪問看護師、ケアマネジャーが基本の職種となっており、これらの職種で構成されている地域包括ケアシステム協議会で、だし丸くんネットを基本職種以外の、提案していただいたような介護職にも普及・啓発していくことが決定しておりますので、今後順次進めてまいりたいと考えます。2点目については、早速分析し次回の会議で報告したいと思います。

(委員)

- ・3頁で、包括支援センターに関する体制整備で、「看護職の確保に苦慮している」ということと、これに関係して、5頁の初期集中支援チームの対応困難ケースも増えつつあるというところで、看護職の離職、来ても大変でやめてしまう方が多いのか、そもそも来る方が少ないのか。ス

スタッフも困難事例を抱えるとかなりメンタル的にもつらくなると思われ、長期戦になったときのスタッフのフォローとかそういったところで何かお気づきの点があったら教えていただきたい。

(事務局)

- ・ここに記載の看護職の確保に苦慮とあるのは、包括支援センターの看護職は在宅ケアの経験がある看護職という条件があるゆえに、絶対数の少なさから確保に苦しむという意味で、特に看護職が離職をするということではありません。もう一つの、認知症全般に関する相談対応について、支援チームの設置直後は、月に20件位だった相談件数がいきなり60件以上に増えた時期もあり、現在は落ち着いて50件弱で推移していますが、その中で認知症の問題だけではなくて、認知症の方を介護しているご家族が、うつだとか病気を発症されていたり、お孫さんが不登校になったり、別居のご家族がアルコール中毒だったりといった、かなり調整を要するケースが一部増えつつあり、そういった困難事例によりスタッフの負担は増えてきています。高齢者の支援だけに特化していたらとても対応できませんので、それ以外の勉強もかなりしていますが、スタッフの疲弊は大きいかなというところは率直に感じております。

(委員)

- ・7頁の介護家族の支援の充実のところ、例えばデイサービスの利用者家族が送迎対応のために、遅刻や早退といった勤め先への申し出が申告しづらいということがあり、結局介護離職してしまうということも多いと思う。市から企業へ認知症について理解してもらえるように、啓発活動をするといったことも、介護離職を防ぐのも一つの手なのかなと感じます。

(事務局)

- ・第6期計画では7頁の中段にある、介護離職の防止のためのリーフレットというものを作成し、主に勤労者の方向けのリーフレットという形で啓発をしました。今後は、いただいたご意見を参考に、色々なところにアプローチしていくことを考えておりますので、よろしく願いいたします。

(委員)

- ・資料7の17頁で認知症家族関連の事業について、参加人数が少なくなっていますが、本当に家族のための良いものですので、是非ケアマネジャーとか、関係機関にPRしていただくということをお願いしたい。

(事務局)

- ・今年は8月のケアマネジャーの集まりの中で、PRをする予定です。ありがとうございます。

(会長)

- ・他にありますか。

<p>(3) 半田市 高齢者保健福 祉計画・第7 期介護保険事 業計画につい て</p>	<p>(特になし)</p> <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・半田市高齢者保健福祉計画・第7期介護保険事業計画について説明。</li> </ul> <p>(会長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ただいまの事務局の説明について、ご意見やご質問はありますか。</li> </ul> <p>(委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料8の1頁の中程のところで記載してある、「第一層」、「第二層」、「第三層」とはどういう用語か。</li> </ul> <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域福祉計画という介護保険事業計画の上位に位置する計画の中の定義で、「第一層」は半田市全体をいいます。「第二層」は中学校区くらい、「第三層」は小学校区くらいをそれぞれ指します。更にもう一つ下層に「第四層」がありまして、町内会くらいの範囲を指します。</li> </ul> <p>(委員A)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4頁の安心して暮らし続けるための支援のところで、家具の転倒防止器具の取り付けがあるのですが、私はVCの会で家具の固定をやっていいますが、器具の固定だけではなく、家具の配置換えというようなことも申請していただければ行うことができます。例えばケアマネジャーから、利用者の方がどこの部屋で就寝しているから、この家具の配置を変えた方が良くというような情報提供をしていただければ、対応することが可能なので、より役立てるという風に思います。</li> </ul> <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ケアマネジャーが実際に高齢者のお宅の安否確認をする時のことも含めて、ケアマネ会とも詰めていきたいと思います。ご協力をよろしく願います。</li> </ul> <p>(委員B)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分自身がケアマネであり、VCの会にも所属しております。自分もケアマネの会でも周知していきたいと思います。</li> </ul> <p>(会長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他にありますか。</li> </ul> <p>(特になし)</p>
<p>(4) 地域密 着型サービス 事業所公募に ついて</p>	<p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域密着型サービス事業所公募について説明</li> </ul> <p>(会長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ただいまの事務局の説明について、ご意見やご質問はありますか。</li> </ul> <p>(特になし)</p>

<p>【その他】</p>	<p>(会長)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・その他、全体をとおして委員から、ご意見ご質問はありますか。</li></ul> <p>(特になし)</p> <p>(会長)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・これにて本日の会議を終了いたします。</li></ul>
	<p>(15 : 40 終了)</p>